

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 1 回虹色学園コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		令和 7 年 5 月 19 日（月）開会 9:00 閉会 11:00			
開催場所		つくば市立研究学園小学校 小会議室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	野尻 敏弘、槇 幸子、実川 菜穂 三田部 勇、仲村 健、川村 靖子 島田 由美子、二木 重光 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 岸 ゆう子、 教務 落合 里美 研究学園小学校：校長 渡部 哲、教頭 川島 真由美 教務 土田 剛士			
	その他				
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏			
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人	
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため			
議題		防災教育について			
会議録署名人				確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書の交付及び委嘱状の交付 3 説明事項 つくば市コミュニティ・スクールについて 4 会長・副会長の選出 5 協議 （１）学園の基本方針と各校のグランドデザインについて （２）予算計画について （３）熟議 テーマ「防災教育について」				

6	授業参観（小学校・中学校 9:40~10:20）
7	その他 コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
8	閉会

<審議内容>

1 開会

川島委員：令和7年度第1回虹色学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。会議を進行するにあたり書記を虹色学園の槇さんをお願いしたい。→承認

2 任命書の交付及び委嘱状の交付

岸委員：任命書、委嘱状については机上に配布、名前を御確認いただきたい。任期は今年度末まで、守秘義務等の責務がある。

～委員自己紹介～

3 説明事項

事務局：つくば市コミュニティ・スクールについて（※つくば市地域学校協働活動ハンドブック参照）学習支援が必要であることから、つくば未来塾のチラシ配布。グランドデザイン、学校運営に関して、教職員の任用など、学校評価などについて皆さんと熟議していく。昨年度までは推進会議、今年度から協議会となる。守秘義務となる話合いもあるので今後注意して欲しい。虹色学園のCSコーディネーターは野尻、槇、実川に担ってもらう。活動に繋げるために、何回かの打ち合わせをしてもらうことで、実際の活動の実現に結びついていくので御協力をお願いしたい。新しい地域として繋がりが課題。子供たちが地域に愛情を返すサイクル作りも大切。

4 会長・副会長の選出

岸委員：昨年度、座長の三田部委員、副座長・中川西委員の代わりに入った仲村委員にそれぞれ会長、副会長をお願いしたい。委員→承認

5 協議

（1）学園の基本方針とグランドデザインについて

板谷委員：昨年度の指摘により、反映しさらに分かりやすく変更。施設隣接型、小中学校の環境を生かし、イベントや活動を取り入れることでより豊かな教育活動を送ることができるようにしていきたい。学年の枠を超えた交流行事を取り入れ、より充実した学校生活を目指していきたい。（※学園要覧参照）

渡部委員：異学年との交流を取り入れて活動している。上位学年にとっての自己有用感の育成、下位学年にとってのキャリア育成を進めている。交流を深めさらに充実した学校生活を目指している。

三田部会長：昨年度の話合いを元に御意見や質問をお願いしたい。

野尻委員：学校として悩んでいること、学校が抱える問題や課題などを教えて欲しい。

板谷委員：小規模校のため先生の人数が足りない。部活動顧問など必要なところに人が足りていないので部活動指導員を市に要望し補えるようにしていきたい。土日の地域展開を少しずつ進めていきたいが、なかなか思うように進んでいない。

渡部委員：登下校について心配。突発的な行事や、在籍の子供に対して支援していただける人がいたら有難い。

三田部会長：他に意見は。

野尻委員：他の学校に比べて虹色学園C Sの特徴的動きは何なのか。市主催のC S情報交換会では、学校や先生の働き方について比較的によくやっている。との意見をもらった。虹色学園を参考にしたいと話があった。先生たちにアンケートを実施し、先生たちが困っていることをQ&Aにし保護者に展開しようとしている。先生たちが抱えている課題が大きい。働き方改革の一環として先生への支援をしている。

野尻委員：地域との繋がりがなかったので地域代表として、島田さんと二木さんに参加してもらった。子供たちに保護者と学校以外の地域イベント活動に参加してもらうことで社会性を育んでもらえる機会を得ることができている。

島田委員：今後も地域と学校関係を徐々に築き上げていければいい。

板谷委員：さくらまつりについては、吹奏楽部とのコラボ。生徒たちのボランティアなどで活躍する場があってよかった。

野尻委員：二木さんにSNSでイベントの発信をしてもらった。今後もお願いしていきたい。

二木委員：3月に実施したさくらまつりのボランティア参加アンケートでは、中学生を対象とした際の個人情報の取り扱いに特に注意が必要だと感じた。

三田部会長：個人情報の取り扱いについてはどのようなになっているのか？

板谷委員：同意書などあれば保護者から許可をもらう。

三田部会長：グランドデザインについて今後も意見をいただけると有難い。委員→承認。

（2）予算計画について

川島委員：イベント保険 5,000 円弱×2 使用する予定。

野尻委員：転用可のような補足の言葉の追加があるといい。

（3）熟議 テーマ「防災教育について」

実川委員：11 月ころ開催予定。研究学園の児童生徒及び保護者、地域の方にも参加してもらう予定。今年度より始め、今後3カ年を目安に継続していく活動にしていきたい。

土田委員：防災についてグループで話合いをお願い。

～10 分～

(以下、各グループの話合いの概要の報告)

仲村副会長：自分たちの地域が本当に困ることは何なのかを考え備えること。実際に災害が起こった場合、どのように動くのか。地域住民と接点がない。役割分担が分からない。などの課題が挙がった。地域でキャンプなどをする中で楽しみながら、知り合いを作っていく機会を得るのもいい例ではないか。

落合委員：対象人数により規模の大きさが変わる。想定される災害により体験することが変わる。要確認が必要である。体験型の方がより子供たちの学びの幅が広がるので良い。被災したら誰がどのような状況になるのか？小学校(防災手帳、防災バック)、中学校(防災マップ、避難所設営ゲーム)の学習をしているので活用していけるといい。被災について伝え続けることや振り返りが大事。いろいろなブースで体験できるといい。

土田委員：体験型が子供たちにはいい経験になる。オール電化やトイレなど自動化が進んでいる現在、物が使えなくなる体験はいいことではないか？やるべきことをどのように地域に発信していくか。子供たちが授業参観で発表していることをさらに地域に伝える。ブースを設けることで、防災の意識を高めることが必要。災害が少ない地域だからこそ、体験を取り入れることが重要である。

土田委員：防災に関して実川さんと企画、準備を進めていく。

6 授業参観（小学校・中学校 9:40~10:20）

7 その他

三田部会長：次回の開催予定について

岸委員：第2回は小学校で令和7年11月25日（火）14:00、第3回は中学校で令和8年2月9日（月）9:00の予定。

岸委員：・次回の会議前に防災のイベントが入る。話合いができるツールが必要。
・研修会の開催のお知らせ（詳しくは事務局の村上に問合せ）。

8 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和7年度第1回虹色学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和7年5月19日（月）

9:00～

場所：研究学園小学校 会議室

次 第

1 開 会

2 任命書の交付及び委嘱状の交付

3 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

4 会長・副会長の選出

5 協 議

(1) 学校運営の基本方針と各校のグランドデザインについて

(2) 予算計画について

(3) 熟議 テーマ「防災教育について」

6 授業参観

7 その他

コミュニティ・スクールについて協議会の今後の予定について

8 閉 会

令和7年度 虹色学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回：5月19日 月曜日)

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	仲村 健	
2	(2) 児童・生徒の保護者	佐久間 健	サポーターズ代表
3	(2) 児童・生徒の保護者	山関 重人	サポーターズ副代表
4	(3) 地域学校協働活動推進員	野尻 敏弘	サポーターズ副代表
5	(3) 地域学校協働活動推進員	榎 幸子	サポーターズ副代表
6	(3) 地域学校協働活動推進員	実川 菜穂	サポーターズ
7	(4) 学識経験者	三田部 勇	筑波大学
8	(5) 各学校長	板谷 亜由美	中学校校長
9	(5) 各学校長	渡部 哲	小学校校長
10	(6) 教職員	岸 ゆう子	中学校教頭
11	(6) 教職員	川島 真由美	小学校教頭
12	(6) 教職員	落合 里美	中学校教務主任
13	(6) 教職員	土田 剛士	小学校教務主任
14	(7) 関係行政機関の職員	川村 靖子	児童クラブ長
15	(1) 地域住民	島田 由美子	
16	(1) 地域住民	二木 重光	
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

令和7年度 学園要覧 虹色学園

つくば市立 研究学園中学校

KENKYUGAKUEN JUNIOR HIGH SCHOOL



つくば市立 研究学園小学校

KENKYUGAKUEN ELEMENTARY SCHOOL



〒305-0817

茨城県つくば市研究学園二丁目26番地

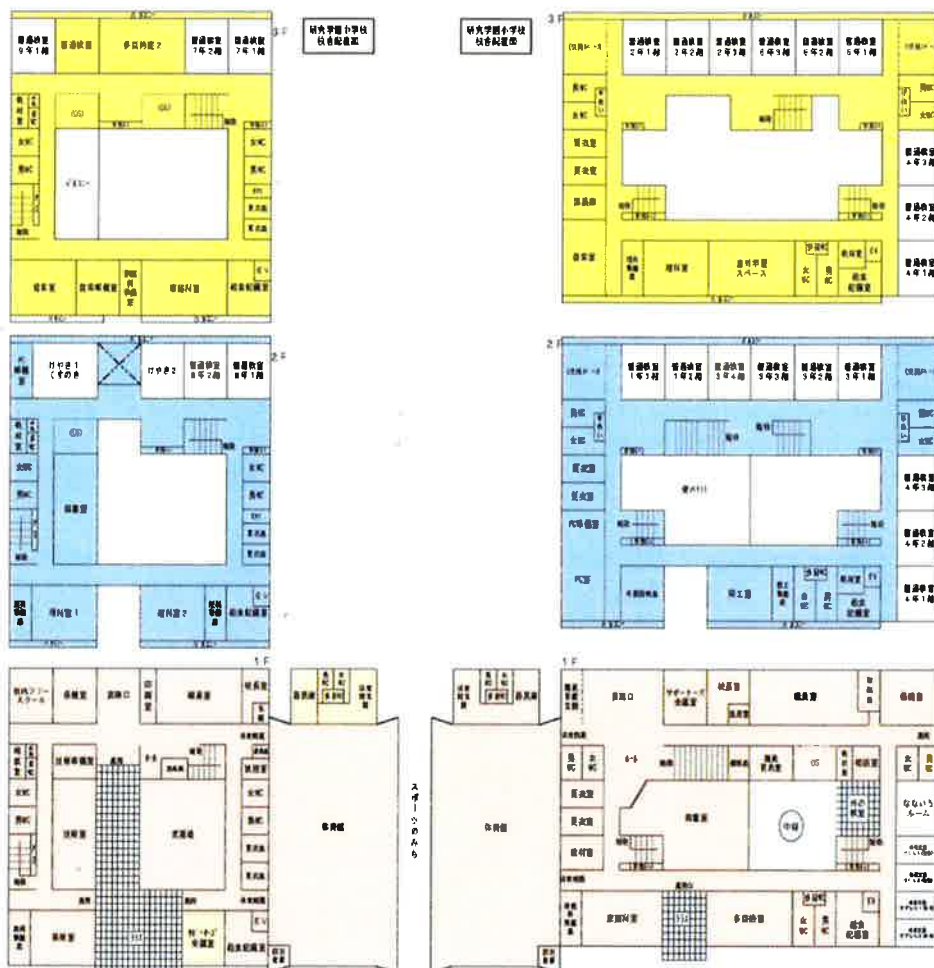
研究学園小学校 ☎ 029 (879) 7755 FAX 029 (855) 1071

URL <https://www.tsukuba-school.jp/kene/>

研究学園中学校 ☎ 029 (869) 5321 FAX 029 (855) 2300

URL <https://www.tsukuba-school.jp/kenj/>

校舎配置図



児童生徒数

4月1日現在（人）

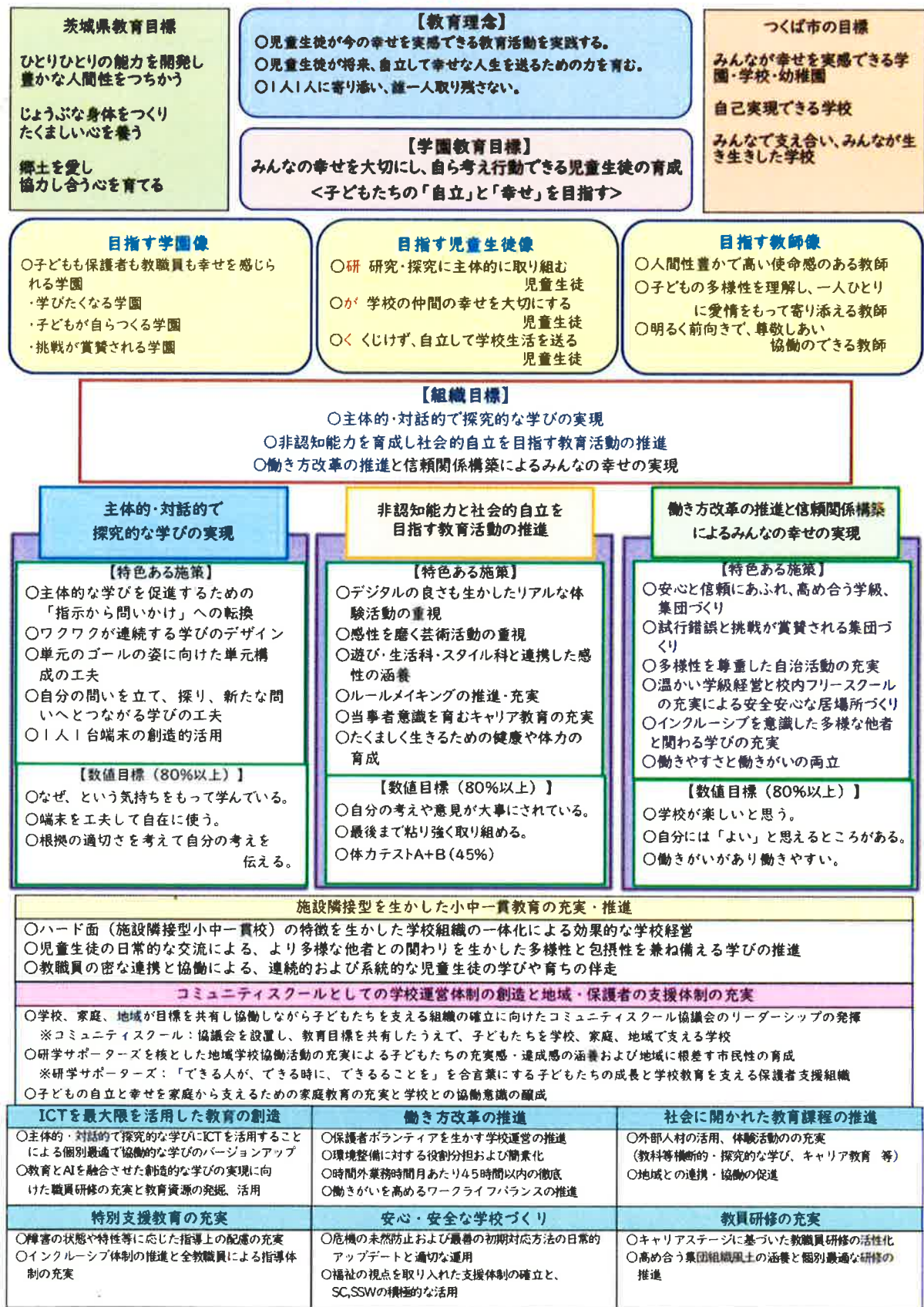
学 年	男 子	女 子	合 計
1年生	33	37	70
2年生	35	41	76
3年生	54	52	106
4年生	46	40	86
5年生	43	37	80
6年生	40	52	92
7年生	34	23	57
8年生	29	23	52
9年生	17	22	39
合 計	331	327	658

教職員数

4月1日現在（人）

職 名	人 数
校 長	2
教 頭	2
教務主任	2
教 諭	35
講 師(非常勤講師含)	5
養護教諭	2
事務職員	2
学校管理員	2
A L T	2
特別支援教育支援員	6
理科支援員	1
学校司書	2
学校サポーター	4
スクールカウンセラー	1
スクールソーシャルワーカー	1
スクールサポートスタッフ	1
学校生活相談員	2
校内フリースクール支援員	4
合 計	76

虹色学園(研究学園中学校)グランドデザイン2025



虹色学園(研究学園小学校)グランドデザイン2025

